

## 令和5年度 学校教育自己診断集計結果・保護者

回収率:227/274(82.8%)

A:たいへん思う B:思う C:あまり思わない D:まったく思わない E:わからない

%の下の数字は昨年との比較

	質問項目	A+B	C+D	E
Q1	子どもは学校に行くことを楽しみにしている。	91% ±0	6% -1	3% ±0
Q2	学校は適切な情報発信を行っている。	94% ±0	1% -3	4% +1
Q3	学校は保護者の悩みや相談に適切・丁寧に応じてくれる。	94% ±0	3% -2	3% +1
Q4	学校は子どもの障がいについてよく理解している。	91% ±0	4% -4	5% +4
Q5	子どもに適した学習内容が行われている。	88% ±0	7% -1	5% +1
Q6	学校は子どもに生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	85% -2	2% -4	12% +5
Q7	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば丁寧に対応してくれる。	87% -2	3% -1	10% +2
Q8	授業参観や学校行事、PTA活動は参加しやすい。	89% +1	8% -1	4% +1
Q9	学校は子どもの健康や安全について十分配慮・対応している。	96% +1	1% -2	2% -1
Q10	学校は1人1台端末を効果的に活用している	39% -10	7% ±0	54% +9
Q11	学校の施設・設備は満足できる。	93% ±0	4% +1	3% -1
Q12	子どもと保護者のニーズの実現に対応する進路指導が行われている。	86% ±0	3% -3	11% +2
Q13	運動会、学習発表会、作品展などで子どもの成長がよくわかる。	96% +2	3% -1	1% -1
Q14	学校は子どもへの支援の手立てについて丁寧に説明してくれる。	91% +1	4% -2	4% ±0
Q15	学校は教育方針を正しく伝えている。	84% -5	4% -1	11% +5

# 令和5年度 学校教育自己診断集計結果・教員

回収率:115/115(100%)

A:たいへん思う B:思う C:あまり思わない D:まったく思わない E:わからない

%の下の数字は昨年との比較

	質問項目	A+B	C+D	E
Q1	校長は自らの教育理念や学校経営についての考え方を明らかにしている。	76% -19	17% +15	8% +5
Q2	学校の教育課程は、児童生徒の実態に即したものである。	88% +4	9% -4	4% ±0
Q3	学校は本人・保護者のニーズの実現に対応する進路指導を行っている。	89% +5	4% -4	8% ±0
Q4	児童生徒の障がいや実態の多様化に対応した教育活動を行っている。	92% -2	8% +3	0% -1
Q5	学校は保護者の悩みや相談に適切・丁寧に応じている。	97% -2	2% +1	1% +1
Q6	学校は各種情報を保護者へ発信・周知するように努めている。	93% ±0	4% -2	3% +2
Q7	学校は地域における支援教育のセンター的役割を果たす取り組みを推進している。	84% -4	8% +3	9% +2
Q8	運動会・学習発表会・作品展などの行事において児童生徒の成長がよくわかる。	96% -1	4% ±0	1% +1
Q9	学校は校内公開授業期間を設定し、教員の専門性や資質の向上の為に校内外研修を推進している。	86% -5	13% +6	1% -1
Q10	教員は危機管理マニュアルを個々に所持し、内容を把握するように努めている	85% -4	13% +3	2% +1
Q11	学校はいじめ・体罰やセクシュアル・ハラスメントの防止、個人情報管理など、すべての教育活動において人権尊重に基づいた指導が行われている。	93% +3	6% -3	2% +1
Q12	学校(教員)は組織として「報告・連絡・相談」が徹底されている。	88% +1	10% -2	3% +1
Q13	教員の適正・能力に応じた校内人事や校務分掌の配置がなされている。	53% -14	38% +15	10% -1
Q14	初任等、経験年数の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれている。	68%	25%	7%
Q15	教員は児童生徒に1人1台端末を効果的に活用している	45%	43%	11%
Q16	部会、学年会、各委員会、職員会議等の会議が情報交換・課題検討の場として有効に機能している。	87% -5	11% +3	3% +3
Q17	職員間の相互信頼があり、意見を率直に言える環境、雰囲気である。	83% -3	13% ±0	4% +2
Q18	学校の施設・設備は 日常的に点検・管理が行われ 安全で円滑に利用できる状態である。	86% -7	11% +6	3% +2